

# 柿経・瓦経・経石

## —法華経を記した遺物—

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



写真1 平安京左京八条三坊十四町出土の柿経

『妙法蓮華経』安樂行品第十四が1枚に17字記され、向かって右から左に連続する。

遺跡を調査すると、まれに仏教の経典を記した遺物が出土します。これらは、当時の人々が仏教とどのように接していたかを知る貴重な資料となります。ここに、発掘調査の成果を中心に紹介します。

**柿経** 薄い板材に妙法蓮華経(法華経)が書かれたもので、京都市内の5地点から出土しています。

細片のことが多い中、平安京左京八条三坊十四町で出土したものは保存状態が良好で、経文も判読できます(写真1)。

**瓦経** 粘土板に経文を刻んで焼いた瓦経は、当研究所では5点確認しています。常盤仲之町遺跡から出土したものは、リーフレット京都No.273で紹介しました。法金

剛院跡の出土品には、法華経の開経に当たる無量義経が記されています。平安京左京四条一坊の出土品は金光明経が記されており、法華経以外の唯一の出土品です。このほか、故木村捷三郎氏による採集品の中にも瓦経が2点含まれており、いずれも法華経が記されています(写真2)。



写真2 木村捷三郎氏採集の瓦経

左は亀塚経塚から採集された瓦経で『妙法蓮華経』授学無学人記品第九、右は出土地不明ではあるが同じく序品第一が記される。



写真3 鳥羽離宮跡134次調査出土の経石

左は『妙法蓮華経』信解品第四、右は同じく法師功德品第十九が記される。

**経石** きょうせき 河原石に法華経を墨書したもので3点あります。弁天島経塚から出土したものは、表面と裏面にびっしりと経文が書かれています。鳥羽離宮跡134次調査で出土したものは、池の洲浜すはまに敷き詰められた河原石に経文が書かれていました(写真3)。

**出土した法華経** これらの出土地点は、平安京とその郊外の12地点に及びます。教典は、金光明経1点を除くとすべて法華経です。法華経は一部八卷二十八品で構成され、無量義経(開経)と観普賢くわんぷげん経(結経)を含めると三十品となります。出土品の中に開経と結経が確認できることから、法華経の全品が揃っていたことが考えられます。これらの年代はいずれも平安時代後期のものです。

永承7年(1052)からは、釈迦の正しい教えが消滅する「末法」に入るため、平安時代後期には浄

土思想が普及したとされます。しかし、それらの原典である「浄土三部経」と呼ばれる阿弥陀経・無量寿経・観無量寿経くわんむりやうじゆきやうが出土品に見られないことは意外です。法華経は「一句、一偈を受持し、誦誦し、解説し、書写すれば悟りが得られる」という内容や女人も成仏できるという思想が背景にあったため、貴族・庶民を問わず広く受け入れられたのでしょう。

**法華経の広がり** 飛鳥時代、聖徳太子は仏教に深く帰依し、法華経・維摩経・勝鬘経の注釈本『三経義疏』を著しました。聖武天皇は諸国に国分寺を建立し、光明皇后は「法華滅罪之寺」を「国分尼寺」とします。平安時代初めには最澄が中国天台山から法華経を受容し、比叡山延暦寺に天台法華宗を開きます。平安時代中期の藤原道長は、吉野金峯山寺に参詣し、法華経その他の教典を地中に埋め

ました。それらは後に出土し、国宝となっています。平安時代末期の平家一門は、安芸の厳島神社に法華経などを納めました。国宝に指定されている『平家納経』です。鎌倉時代には、日蓮が法華経の重要性を訴え「法華宗」を興しました。こうして法華宗は京都にも普及し、町衆の支持を得ますが、原理的な宗旨から政治勢力とも抗争を繰り返し、法華二十一ヶ寺と呼ばれる本山寺院は、その拠点となりました。(丸川義広)



法華経関連遺物の出土地点

表1 法華経一部八卷三十品と出土地

巻	品名	出土地	巻	品名	出土地	
開経	無量義経	法金剛院境内(瓦)	巻第五	安樂行品第十四	平安京左京八条三坊十四町(柿) 平安京右京九条四坊二町(柿)	
巻第一	序品第一	出土地不明(瓦) 平安京右京九条四坊二町(柿)	巻第六	従地涌出品第十五	平安京右京九条四坊二町(柿)	
	方便品第二	平安京右京九条四坊二町(柿)		如来寿量品第十六	出土なし	
巻第二	譬喻品第三	元本能小(瓦) 鳥羽離宮跡124次(柿) 平安京左京八条三坊十四町(柿) 平安京右京九条四坊二町(柿)	分別功德品第十七	出土なし		
		信解品第四	鳥羽離宮跡134次(石) 鳥羽離宮跡96次(柿)	随喜功德品第十八	出土なし	
巻第三	菓草喻品第五	出土なし	法師功德品第十九	鳥羽離宮跡134次(石) 平安京左京八条三坊十四町(柿)		
	授記品第六	出土なし	巻第七	常不軽菩薩品第二十	弁天島経塚(石) 鳥羽離宮跡145次(柿)	
	化城喻品第七	鳥羽離宮跡96次(柿) 鳥羽離宮跡124次(柿) 平安京右京九条四坊二町(柿)		如来神力品第二十一	出土なし	
巻第四		五百弟子受記品第八		嘱墨品第二十二	出土なし	
	授学無学人記品第九	鳥羽離宮跡(瓦)	薬王菩薩本事品第二十三	鳥羽離宮跡124次(柿) 平安京左京八条三坊十四町(柿)		
巻第四	法師品第十	常盤仲之町遺跡(瓦) 平安京左京八条三坊十四町(柿) 平安京右京九条四坊二町(柿)	妙音菩薩品第二十四	出土なし		
		見宝塔品第十一	平安京右京九条四坊二町(柿) 鳥羽離宮跡145次(柿)	巻第八	観世音菩薩普門品第二十五	鳥羽離宮跡124次(柿)
			陀羅尼品第二十六		出土なし	
巻第五	提婆達多品第十二	出土なし	妙莊嚴王本事品第二十七	左京四条二坊十四町(瓦)		
	勸持品第十三	出土なし	普賢菩薩勸発品第二十八	出土なし		
			結経	観普賢経	平安京右京九条四坊二町(柿)	

凡例 / (瓦) 瓦経、(柿) 柿経、(石) 経石